



学校教育目標 「元気な子」「考える子」「仲良くする子」

上高田小だより

2019年 5月号
発行 令和元年5月7日
中野区立上高田小学校
校長 小池隆一
児童数 184名
卒業生総数 14459名

「令和時代」のスタート

副校長 塩田 英俊

新緑の木々がまぶしい季節となりました。校庭を歩いていると太陽の光に照らされて多くの花々が輝いて見えます。

5月1日から新たな元号、『令和』となることが決定しました。現存する日本最古の歌集である万葉集が由来で、歌人の大伴旅人の漢文から引用したそうです。「初春の令月にして、気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す」を典拠としています。確認できる限り日本の元号の典拠が日本古典(国書)となるのは初めてです。

日本の国柄をしっかりと次の時代へと引き継ぎ、梅や蘭の花と同じように日本人がそれぞれの花を大きく咲かせることができる日本でありたいとの願いが込められています。

さて、先日の土曜公開では、一年生を迎える会、オリンピック・パラリンピック教育の特別授業が行われました。ご参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。子どもたちが、校歌や呼びかけ、ゲームをして仲良く過ごす姿、一年生を優しく迎え入れる姿に、ほのぼのとした気持ちになりました。

また、特別授業は、教職員とPTAの皆様が協力して行いました。PTAの皆様からのTシャツのプレゼントに始まり、オリンピック・パラリンピックのマスコットデザイナーの谷口亮先生に貴重なお話を頂きました。



いよいよ開幕まで残すところ450日余り、年齢や性別、肌の色や国籍、さらには思想の差異を超えて、ここ日本にしかも東京にお客様をお迎えすることの意味を深く実感しながら、新たな文化の誕生に心が躍ります。

令和2年4月には、オリンピックと同様に現在の上高田小学校の位置で、《仮称》令和小学校として新井小学校を迎えて、新たな文化・新たな歴史がスタートします。この1年を上高田小学校としては、上高田レガシーを築きながら、「有終の美」を飾り、新しい時代を新しい決意で、地域の皆様と共に子どもたちの笑顔のために出発して参ります。